

令和3年度 学校教育自己診断 分析

生徒（この学校に入学して良かった） 肯定率 83%

保護者（子どもをこの学校に入学させて良かった） 肯定率 87%

生徒の肯定率は昨年度より5ポイント上回っており、コロナ禍においても、生徒たちにとって満足できる学校生活であったと推察できる。これからも高く評価され、愛される学校づくりが重要である。

保護者（学校からホームページ・メルマガを通じ適時情報提供がされている） 肯定率 86%

教職員（教育活動に必要な情報について、ホームページやメルマガを通じて生徒・保護者や地域への周知に努めている） 肯定率 91%

コロナ禍においても、メールで定期的に配信したことが評価されていると推察できる。今後も、保護者や地域の方々としっかりつながりを持ち、その中で生徒が活躍する学校にしていきたい。

（授業関連）

肯定率 生徒 76% 教職員 84% 保護者 57%

昨年度に比べ、生徒の肯定率は1ポイント、教職員の肯定率は3ポイント、それぞれ上がった。教職員が各自で工夫し、「ICT機器を活用した授業」「生徒が発表する機会がある授業」を行った結果であると推察する。今後は各教員の取組を共有し、学校全体としてレベルアップする体制整備を図っていききたい。

（進路関連） 肯定率 生徒 85% 教職員 100% 保護者 68%

昨年度に比べ、生徒の肯定率は6ポイントが上がった。学校の進路指導は一定評価いただいている。今年度も難関私立大学の合格者も増え、過去最高の進学実績を残せる見通しが出てきた。この傾向を引き続き保ちたい。

（人権教育関連） 肯定率 生徒 74% 教職員 86% 保護者 56%

人権・道徳教育推進委員会の定期的な開催をはじめ、支援相談委員会も今年度は各学期に開催し、生徒の情報共有に努めた。生徒が安全で安心できる学校であり続けたい